

見えづらかった問題を解消して、さらに儲かる工事へ!

# EX工事システム

## HYBRID





# 費用管理と業務効率化で、工事ごとの利益を確保し収益を向上!

## 見積管理業務

儲かる工事は、まず見積から!

### ■粗利を確認しながら楽しく作成

今お使いの見積書をそのまま画面に表示させ、入力画面上に粗利金額を表示できますので、利益を調整しながら見積書を作成できます。

### ■エクセルの見積書も一元管理

営業スタッフがエクセルで独自に作った見積データなども、CSV形式で取り込み可能。さらに、受注した見積書の内容を基に、請求書の発行や入金、費用情報が作成でき、工事台帳までの流れを一貫して処理することができます。



## 工事請求業務

出来高請求もカンタン操作!

### ■出来高請求も自動計算でミス軽減

工事の進捗に合わせた出来高請求や、得意先ごとの請求に対応。複雑な出来高を自動で計算し、請求ミスの防止に役立ちます。

### ■売掛残高をしっかり管理

指定請求書への印刷はもちろん、物販分、工事分を別々に入金処理できるため、それぞれの売掛残高も管理できます。また、得意先帳への転記も自動で行い、得意先ごとの売掛残高も確認できます。

## 費用管理業務

費用が“見える”から対策が打てる!

経理と現場、2つの視点で予実を管理! 比較・分析・シミュレーションが可能に!

[受注入力] 受注金額、予測費用など工事の情報を入力



仕入先や外注先からの伝票を基に費用を入力  
※現場でしかわからない情報は日録を基に入力



[費用入力] かった費用を分類ごとに登録。  
(材料費、労務費、外注費、経費など最大7種)

使った材料や出面など現場の情報を基に費用を入力



[工事台帳(費用)] 支払いに直結した詳細な工事台帳を作成

[工事台帳] 入力したデータを集計して表示・印刷。受注金額や予測費用などと比較して利益を管理。

[工事台帳(日報)] 日々の情報を反映させたリアルタイムな工事台帳を作成

費用の超過を自動でお知らせ!  
予測に対して、日々入力した費用の累計金額が一定の割合(任意)を超えると、メッセージでお知らせします。

2つの台帳、予測費用を比較すれば、もっと問題点が見えてきます。



外注先の単価が変わったらすぐに監督に報告しなさい!



こんなに材料費が高騰してたのか!? これからは注意しよう!



**CHECK!!** 日報データの連携・活用が可能!

現場の日報データと、経理の伝票データに金額の差異がない場合、入力した日報データをそのまま経理側へ取り込むことが可能。2重入力の手間が省けるうえ、より精度の高い費用把握も実現します。また、取り込むデータは「労務費」「外注費」など項目ごとに指定することが可能です。

## 会社全体の状況が見える多彩な管理帳表

日々入力するデータを基に、日報・月報をはじめ多彩な資料を集計・分析。会社の業績が把握でき、次の一手に貢献できます。

### <主な帳票例>

- 得意先別売掛残高一覧表
- 工事一覧表
- 工事別実績一覧表
- 担当別工事実績一覧表
- 工事別予算実績一覧表
- 担当者別予算実績一覧表
- 得意先別工事原価対比表
- 工事台帳印刷

▲工事一覧表

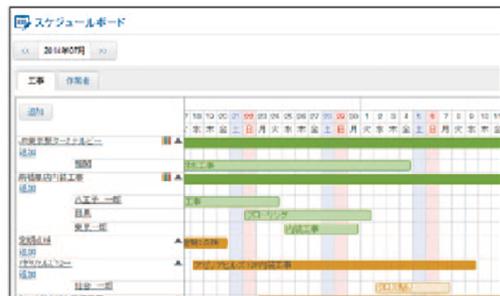
社内の業務効率化と情報共有に役立つ!

これで社員の原価意識も向上するね!

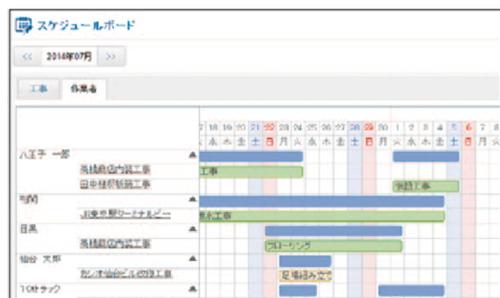
## スケジュールボード

特許  
出願中

人や機材の効率配置でコスト削減!



工期を登録すると予定表を自動作成!(特許出願中)。複数の現場の日程をカレンダー形式で把握できます。物件の費用予測残金額や、住所情報からは現場付近の地図や天気情報を確認することができます。



作業者タブを選択すると、人員や重機、車両などのスケジュールが一目瞭然! 社員間での情報共有ができます。

## ドキュメントバインダー

特許  
出願中

情報把握で経営力&営業力アップ!



工事に関連するさまざまな書類を保存可能。インターネットに接続できる環境があれば、パソコンやスマートフォンなどを使って閲覧することができます。

### お客様とも情報を共有

施主様向けにドキュメントバインダーをセキュアな環境で公開可能! 進捗報告などの顧客サービスや営業支援に活用できます。



## 楽しく経営リサーチ

気になる費用の状況が一目瞭然!



工事ごとに費用の状況をグラフで「見える化」。気になる部分を分析・シミュレーション!

- ・費用の割合が大きい現場はどこか?
  - ・実績と現場の見立てに差異は?
  - ・見直すべき費用項目は?
- など数字をグラフにすることで、状況をひと目で把握できます。

気になる部分をクリックすると、さらに深掘りして分析ができます。予測値を入力すれば、シミュレーションも簡単です。